

03 しのはらプレスサービス株式会社

技術サービスに軸足を置き 顧客ニーズのソリューションに幅広く対応

「技術サービス」主体が不変のスタンス 人材教育にも注力

しのはらプレスサービスは創業以来、プレス機械のメンテナンスを主体にした技術サービスを事業展開の主軸においてきた。技術サービスは、「修理」「安全化対策」「機能アップ」などを通して顧客にソリューションを提供することにあり、言い換えれば、同社は技術サービスというフィールドをベースにして定期点検から後述する安全器やエコプレスの開発までさまざまな事業を芽吹かせてきたことができる。

「製造業でありながら、私どもは“サービス”という第3次産業的な業態を有しています。技術サービスは地域に密着して、顧客が必要とするソリューションにきめ細かく対応することにあります。しかしながら求められるソリューションは非常に幅広い。しかも多岐にわたるソリューションに答えられなければ私どもの存在意義はないのです。そのために、メンテナンス、リビルド、レトロフィットなどを通してノウハウを蓄積し、横断的にメカ、電気、油・空圧技術等に精通してそれを技術サービスの高度化に役立てる、モノづくりの中心に立つのではなく、地味だけれども周辺の技術サービスという観点からモノづくりをサポートする、それが私どもの不変のスタンスなのです」(篠原敬治社長)

技術サービスの原点はヒトである。それだけに人材教育には特に力を入れてきており、新卒者の採用を優先してきめ細かく技術教育を行う体制も整えてきた。技術サービスに要する技能検定の取得数もトータルで1000を超えている。

サステイナブルエンジニアリングを提唱し エコイノベーションを推進

現在、しのはらプレスサービスはエコイノベーションを志向する“Sustainable Engineering(サステイナブルエンジニアリング)”を提唱する。“Sustain”とは支える、持続するという意味を

有する。同社はこれまで既存プレスの再利用を通してプレス機械の新たな可能性を追求し、より付加価値の高いサービスを提供する Total Solution Engineering を目指してきた。Total Solution Engineering のベースは、独自の技術とノウハウで既存のプレス機械を最新テクノロジーを装備したプレス機械へと生まれ変わらせる環境にやさしいリサイクルである。リサイクルされたプレス機は生産工程において消費電力量、消耗部品等を減少させ、よりエコ志向の高い生産システムを実現する。もともと同社のビジネスモデルはエコに適合したものであり、技術サービスを通して環境への負荷低減のみならず導入コストの削減、省エネ化・効率化、高安全化の実現を持続して支えていこうというのがサステイナブルエンジニアリングの提唱である。

サステイナブルエンジニアリングから生まれた取り組みが“エコプレス化活動”である。プレス機械の高付加価値化を実現するために、Ecology (環境に優しい既存プレスの有効活用)、Saving (無駄をなくす省エネルギー化、省労力化、時間短縮)、Simple(生産工程の簡素化、プレス機械構造の簡素化)、Easy (オペレーターの負担・疲労を軽減する/人に優しく)、Safety (オペレーターの安全確保、点検作業による事故防止/より安全に) という3S2Eを推進し、その機能を組み込むことにより環境負荷の低減を実現する“エコプレス”を誕生させようというもの。エコプレス化は数多くの既存プレス機械をより長く現場の第一線で活躍させることを目的としており、同社が提唱するサステイナブルエンジニアリングの中核をなすものである。

MF-Tokyo2009に出展

しのはらプレスサービスは、サステイナブルエンジニアリングをメインテーマとして、「MF-Tokyo2009」に出展する。出展機は、上記のSimple/Ecology機能を組み込んだ「サーボ化改造システム」(写真1)、Ecology/Saving機能を搭載

した「リビルド・ラボ」(写真2)、Safety/Easy機能を持つ「シャッターガード」(写真3)の3機種。エコイノベーションを推進する同社の姿勢を前面に打ち出している。

サーボ化改造システムは、独自に開発したマルチアクションダイ(複合加工金型)とACサーボプレスを組み合わせることで、複数工程の短縮を実現したものだ。加工工程の削減により現有設備の有効利用が図れる。マルチアクションダイによって絞り円筒部の増肉加工も可能。最適板厚化が可能となり、材料費の削減、成形品の強度強化、製品の軽量化も実現する。

リビルド・ラボは単なるオーバーホールではなく、最新の機能や安全性を付加することにより、既存プレス機が最新テクノロジーを持つメンテナンス性に優れた機械へと進化することを実証したものである。



写真1 Simple / Ecology 機能を組み込んだ「サーボ化改造システム」



篠原敬治 社長

しのはらプレスサービス株式会社

〒273-0016
千葉県船橋市潮見町 34-2
TEL.047-433-7761

http://www.shinohara-press.co.jp



写真2 Ecology / Saving 機能を搭載した「リビルド・ラボ」



写真3 Safety / Easy 機能を持つ「シャッターガード」

最後のシャッターガードは、ガードの高速開閉、押しボタン操作無用、安全距離ゼロなど従来のガード式安全装置のイメージを払拭した画期的な安全装置(厚生労働省検定番号TA285号)。安全作業の実現、金型・ワーク材の飛散防止、生産性のアップを実現する。